

NEW 地元ガイドさんとじっくり、ゆったりウォーキング

絶景の極み!高ボッチ高原ハイキングと 桔梗ヶ原ワインバレー・奈良井宿ガイドウォーク

掲載No	東京発	6AEP4000
6	現地発着	6CEP4000

東京発・ 現地発着
食事 朝1、昼2、夕1

▶最少催行人員：12名

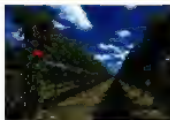
★アドベンチャー ツーリズム★

出発日 9月21日、10月6日

旅行代金(大人おひとり様)

出発地	2人1室	1人1室
東京発	74,000円	76,000円
現地発着	63,000円	65,000円

※東京・現地集合の共同募集コースです。添乗員は初日新宿駅から最終日新宿駅まで同行します。
※利用バス会社(1日目):朝日観光自動車 ※利用タクシー会社(2日目):美勢タクシー ※部屋タイプ:洋室 ※写真は全てイメージです。
※歩程 1日目:3.5% 2日目:4%



日本を代表する
ワインの銘醸地
でもある塩尻

行程 →バス →航空機 →徒歩 =列車 ~船 ++その他

新宿駅(9:00頃発)⇒茅野駅⇒塩尻駅(12:00頃発)
→奈良井宿(脇本陣をつとめた歴史のある建物「徳利屋」で郷土料理の昼食)⇒奈良井宿〜木曾平沢まで「ウォーキングガイド同行」(江戸時代のそのままの旅館や問屋が残る宿場町から、100軒以上が軒を連ねる漆工の町までじっくり散策、工房も見学いたします)⇒木曾くらしの工芸館(休憩)⇒夕刻:ホテル中村屋泊(どこか懐かしさを感じる塩尻の老舗ホテルでお寛ぎ下さい)
午前:宿⇒塩尻駅(大きな荷物を預けてタクシーで出発)⇒〈タクシー〉⇒高ボッチ高原「ボランティアガイド同行」(ゆるやかな遊歩道をゆったりハイキング。爽やかな秋風と360度のパノラマに感動!)->〈タクシー〉⇒サンサンワイナリー(昼食と自慢のワイン1杯付き)->〈タクシー〉⇒桔梗ヶ原ワインバレーウォーク「ウォーキングガイド同行」(信濃ワイン…五一わいん…井筒ワイン)->塩尻駅⇒新宿駅(19:00頃着) 塩尻駅(16:15頃着)



高ボッチ高原から望む
富士山と諏訪湖



江戸と今の暮らしが息づく
奈良井宿

大型バスでは行くことが出来ない、絶景の極みと言われる「高ボッチ高原」や日本有数のワイン銘醸地「桔梗ヶ原ワインバレー」、重要伝統的建造物群保存地区にも選定され、多くの旅人で栄えた往時の様子を今に伝える「奈良井宿」、漆工の町「木曾平沢」など、信州塩尻の見どころをその場所を知り尽くしたガイドさんとウォーキングでじっくり巡る旅です。

NEW 彼岸花咲くのどかな初秋の奈良・万葉の地を地元案内人の解説付きで

大和のまほろば 古代ロマンの地へ 「山の辺の道」から飛鳥を歩く

掲載No	東京発	6AES5E40
7	現地発着	6CES5E40

東京発・ 現地発着
食事 (東京)朝2、昼3、夕2 (現地発着)朝2、昼3、夕2

▶最少催行人員：8名

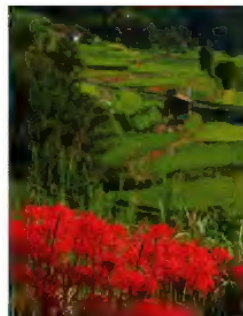
早割90分前
3000円割引 9/25
のみ ★アドベンチャー ツーリズム★ 歩人数
18名 バス
2シート ひとり

出発日	出発地	2人1室	1人1室
9月14 ・25日	東京発	133,000円	139,000円
	現地発着	115,000円	121,000円

※東京・大阪の共同募集コースです。添乗員は初日東京駅から最終日東京駅まで同行します。 ※利用バス会社:奈良交通または奈良観光バスまたは天理交通 ※部屋タイプ:洋室 ※名古屋発着についてはP59をご参照下さい。 ※写真は全てイメージです。

行程 →バス →航空機 →徒歩 =列車 ~船 ++その他

東京(8:30~9:30発)⇒品川⇒新横浜 近鉄奈良(11:40~12:30発)
⇒名古屋⇒京都⇒近鉄奈良
→天理・石上神宮(日本最古の神社のひとつ)⇒ガイドの案内で山の辺の道を歩く【前半】⇒内山永久寺跡⇒夜都伎神社⇒竹之内環濠集落⇒萱生環濠集落⇒畠田陵⇒念仏寺⇒長岳寺⇒夕刻:橿原・THE KASHIHARA泊(温泉大浴場でお寛ぎ下さい。和会席料理夕食)
午前:宿⇒黒塚古墳(三角縁神獣鏡が出土)⇒ガイドの案内で山の辺の道を歩く【後半】⇒行燈山【崇神天皇陵】古墳⇒渋谷向山【景行天皇陵】古墳⇒穴師⇒松原神社(二上山展望)⇒玄寶庵⇒大神神社⇒明日香村⇒伝飛鳥板蓋宮跡⇒酒船石⇒酒船石遺跡⇒亀形石造物⇒飛鳥寺(蘇我馬子創建、日本最古の仏教寺院・飛鳥大仏)⇒夕刻:橿原・同ホテル泊(フランス料理夕食)
午前:宿⇒【ガイドの案内で飛鳥を歩く】都塚古墳⇒石舞台古墳(飛鳥を代表する巨大古墳)⇒稲淵(彼岸花が揺れる飛鳥の里と棚田の風景)⇒男網⇒飛び石⇒南淵護安墓⇒飛鳥川上⇒女網⇒飛鳥資料館(飛鳥の歴史と文化を学ぶ)⇒
橿原神宮前⇒京都⇒名古屋⇒新横浜 橿原神宮前(14:30~15:30着)
⇒品川⇒東京(18:30~19:30着)



初秋の明日香村
彼岸花と棚田の風景



夜は温泉大浴場で
お寛ぎ下さい

古事記や日本書紀、万葉集にも登場する「山の辺の道」。のどかな道沿いには神話や伝説にまつわる名所旧跡が数多く残ります。天理から桜井まですべての道のりを、地元案内人の解説を聞きながらじっくり歩いて訪ねます。謎に満ちた遺跡が多い飛鳥の里、奥明日香へも足を延ばして万葉の人々が暮らした古代ロマンの世界を感じる旅です。